

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
子宮頸癌PTXNOGBEV療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生食50mL(プライミング) ② ベバシズマブ 15mg/kg+生食100mL ベバシズマブは2回目以降は60分、3回目以降は30分まで短縮可能 ③ 生食50mL(フラッシュ) ④ デキサメタゾン13.2mg+ファモチジン20mg+生食50mL 点滴開始と同時にジフェンヒドラミン錠10mgを5錠内服 ⑤ 生食100mL ⑥ パクリタキセル 175mg/m ² +5%glucose 500mL インラインフィルターを用いて投与する ⑦ 生食50mL(フラッシュ) ⑧ ノギテカン 0.75mg/m ² +生食100mL ⑨ 生食50mL(フラッシュ)		
d2,d3	① デキサメタゾン6.6mg+生食50mL ② 生食50mL(フラッシュ) ③ ノギテカン 0.75mg/m ² +生食100mL ④ 生食50mL(フラッシュ)		
コメント	day1 Rp.4開始と同時にジフェンヒドラミン錠10mgを5錠内服		

プロトコールに関する解説
<p>進行もしくは再発子宮頸癌に対する治療として化学療法を選択することが一般的です。現在もっとも使用されている化学療法はシスプラチン/パクリタキセル+ベバシズマブ療法ですが、シスプラチンはその代表的な副作用として腎機能障害があります。治療前に腎機能の低下が認められるなど、シスプラチンの使用を避けたほうが良い患者様の治療選択肢として、ノギテカン/パクリタキセル+ベバシズマブ療法があります。副作用は骨髄抑制、脱毛、吐気、手足のしびれなどがあります。またベバシズマブには特有な副作用として消化管穿孔、血栓症、高血圧など重篤な合併症が起こることもあるため十分に注意して治療を行う必要があります。</p>